

公表	事業所における自己評価総括表		
----	----------------	--	--

○事業所名	<b>momo club</b>		
○保護者評価実施期間	令和 7年 12月 8日 ~ 令和 7年 12月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19人	(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和 7年 12月 8日 ~ 令和 7年 12月 12日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 1月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	楽しいダンスを行うことで、毎日楽しく来所してもらっている。	ダンス療育という他事業所との差別化を図った療育方法を取り入れている。	ダンスの難易度を児童に合わせ、自己肯定感をより高められるよう発表会を定期的に開催する。
2	利用日数が多い利用者が多いため、前回の振り返りをスムーズに行える。このことにより、個人の成長を日に日に感じられる。	週1回の利用では、事業所として療育面での成長を支援することが難しいと考え、週2・3回以上の利用を推奨している。	一人ひとりの課題に目を向け、課題に合った支援方法を考え、障がいの特性だけにとらわれない支援を行っていく。
3	将来の社会的自立に向けた支援を第一に考え、日々の支援を行っている。	社会に出た場合、現状何が足りないのか、何のスキルを身に付ける必要があるかを常に考え、支援内容・方法を検討している。	支援方法のバリエーションを増やし、固定化した支援にならないよう努める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団行動に特化した事業所なので、個別支援の対応が難しい。	設立当初から、集団活動・行動をメインとした事業所を目指していた。	一人ひとりの課題を見つけ、集団活動の中でできる支援方法を考える。
2	ST・PT・OTなどの専門職員が不在。	現状の職員数が足りている為、新たに職員を増やす予定がない。	より内容の濃い支援を行えるよう、日々の研修や個人がスキルアップできる勉強会を行う。
3			